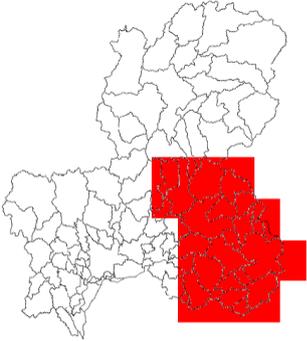


クモイコザクラ	<i>Primula reinii</i> Franch. et Sav. var. <i>kitadakensis</i> (H.Hara) Ohwi	絶滅危惧種 I 類
(環境省:絶滅危惧種 II 類)		サクラソウ科
選定理由	生育地が限られており、個体数も少ないとみられる。岐阜県においては、分布域が南アルプスの南端に位置し、生育は極く稀と思われる。	写真(大塚英樹) 
形態の特徴	丈の低い小型の多年草で、コイワザクラの高山性変種。葉は有柄で円心型～楕円形。コイワザクラに比べて鋸歯が深く、7～9裂して先が尖る。葉の軟毛も少ない。5～10cmの花茎の先に1～5個の花をつけ、花冠は紅紫色。花期は5月。	
生態的特徴	亜高山帯から高山帯の湿所、岩間に生える。	
分布状況	八ヶ岳と南アルプス、秩父山地に分布し、岐阜県では県南東部に1ヶ所確認されている。	
減少要因	渓谷探勝目的のための遊歩道設置や登山道による踏みつけ、愛好家による採取などが考えられる。	
保全対策	遊歩道の設置や登山道開設などには慎重な配慮が必要である。	
特記事項		
参考文献	平凡社:野生植物Ⅲ 保育社:野草図鑑(7) 東京新聞出版局: 高山植物	
		※生息地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責:大沢律子